

# いいで農村未来研究所が

## 設立されました

手づくりの持続可能なまちづくりに向けて

本町は50年前から住民参加のまちづくりを進めてきました。住民、行政、研究者の協働での地域活動を進める中で飯豊町農村計画研究所が設立され、住民参画での土地利用計画づくりを進め、総合計画へと反映されました。その後、この活動は休止していましたが、新たに、いいで農村未来研究所を設立して、農村として希望ある未来へと歩み続けます。

### 農村未来研究所の設立

7月28日、町民総合センター「あす」において、いいで農村未来研究所理事会・運営委員会合同会議が開催されました。この会議で、いいで農村未来研究所の機関として、全体組織や事業計画の方向性を定める理事会、具体的な活動内容を企画実施する運営委員会の設置が決定しました。併せて理事会および運営委員会の役員が選任されました。理事会の理事は7名、監事は2名です。運営委員は18名です。

#### ◆主な役員

理事長：後藤幸平（飯豊町長）  
副理事長：斎尾直子（東京工業大学 建築学系准教授）

所長：糸長浩司（NPOエコロジィ・アーキスケープ理事長）  
副所長：館石修（飯豊町企画課長）

### point 1 活動の目的

住民参画の農村計画の歴史を継承し、現在や将来のまちづくりの担い手を育成します。また、地球温暖化など地球規模で抱えている複雑な課題を考慮しながら、農村の伝統的な知恵を再考活用し、また新たな知と実践手法を学び、情報交流の場を提供します。

### point 2 活動方針

- ① 農山村の持続的発展に寄与する取り組みの推進を目指します
- ② 専門的学術研究者と地域住民の意見交換が十分に行われる組織をめざします
- ③ 多様な主体の基本的活動や新たな挑戦を支援します
- ④ 誰もが交流し、多くの情報発信が可能である機関をめざします

### point 3 主な活動内容

- ◆ 教育部門
  - ・ まちむらづくり塾
  - ・ 飯豊町現地での実践的学び
- ◆ コンサルティング部門
  - ・ 地区別計画の推進支援
  - ・ まちづくりカフェの機能の検討
- ◆ 研究部門
  - ・ 農村計画アーカイブ作成
  - ・ あす図書室での農村計画情報発信



農村生活をより楽しく、より豊かに  
いいで農村未来研究所理事長  
飯豊町長 後藤幸平

「農村にこそ、これからの社会をより豊かにする手がある」との漠然とした思いは、日に日に確信になりつつあります。効率や生産性、そして、便利さだけでは得られない、自然とともにある良質な暮らしと持続可能な生活様式への見直しと転換は、私たちの将来を明るく描くことにつながります。その実現のために、今、なすべきことは何かを語り合いたしましょう。

### 旧飯豊町農村計画研究所

昭和59年10月、飯豊町農村計画研究所が開所しました。農村地域の人材育成と町内外交流、情報の受発信を目的に、高峰地内の廃校となった手ノ子小学校大鹿分校を利活用した施設です。各地区土地利用計画策定の基礎調査や策定支援事業、全国対象の農村計画講座開催を行いました。



### 研究所開所式の予定

- ◆ 日程 / ~~9月17日(土) 午後~~
- ◆ 場所 / ~~町民総合センター「あす」~~
- ◆ 内容 / ~~開所式とトークセッション~~  
~~農村の魅力や暮らしなどの~~  
~~テーマを予定~~  
~~(詳細は、後日お知らせします)~~

◆ 問合せ先 / 役場企画課総合政策室

☎ 87-0521